

フランクリン・テンプルトン 米国政府証券ファンド (愛称：メイフラワー号)

第31作成期

第180期	(決算日 2017年4月17日)
第181期	(決算日 2017年5月15日)
第182期	(決算日 2017年6月15日)
第183期	(決算日 2017年7月18日)
第184期	(決算日 2017年8月15日)
第185期	(決算日 2017年9月15日)

運用報告書(全体版)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「フランクリン・テンプルトン 米国政府証券ファンド(愛称：メイフラワー号)」は2017年9月15日に第185期の決算を行いました。ここに、第180期から第185期の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。



FRANKLIN TEMPLETON
INVESTMENTS

フランクリン・テンプルトン・インベストメンツ株式会社

東京都港区六本木1丁目9番10号

〈お問い合わせ先〉

お客様ダイヤル

電話番号：03-6230-5699

受付時間：9:00～17:00

(土・日・祝日および12月31日・1月2日・1月3日を除きます。)

<http://www.franklintempleton.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するお問い合わせは、お申込みされた販売会社までお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	主としてフランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国ジニーメイ・パス・スルー証券(政府抵当金庫パス・スルー証券)等の米国高格付け証券に実質的な投資を行い、信託財産の着実な成長と安定的な収益確保を図ることを目指してファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。	
主要投資対象	フランクリン・テンプルトン 米国政府証券ファンド	フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド	主として「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド(米国籍投資法人)」、「フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズ・フランクリン U.S.ガバメント・ファンド(ルクセンブルク籍投資法人)」および「フランクリン・テンプルトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド(バミューダ籍投資法人)」等への投資を通じて、米国ジニーメイ・パス・スルー証券等の米国高格付け証券に実質的な投資を行います。
組入制限	フランクリン・テンプルトン 米国政府証券ファンド	外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎月15日(ただし、15日が休業日のときは翌営業日とします。)に決算を行い、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が配当等収益を中心に基準価額水準等を勘案して決定します。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	



●最近5作成期の運用実績

決 算 期		基 準 価 額 (分 配 落)	税 引 前 分 配 金	期 中 騰 落 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		円	円	%	%	百万円
第27作成期	156期 (2015年 4月15日)	8,496	14	△0.7	99.2	39,625
	157期 (2015年 5月15日)	8,435	14	△0.6	99.1	38,638
	158期 (2015年 6月15日)	8,663	14	2.9	99.1	38,562
	159期 (2015年 7月15日)	8,639	14	△0.1	99.1	37,780
	160期 (2015年 8月17日)	8,687	14	0.7	98.9	37,277
	161期 (2015年 9月15日)	8,438	14	△2.7	98.9	36,039
第28作成期	162期 (2015年10月15日)	8,340	14	△1.0	98.9	35,347
	163期 (2015年11月16日)	8,540	14	2.6	99.2	35,799
	164期 (2015年12月15日)	8,439	14	△1.0	98.7	34,766
	165期 (2016年 1月15日)	8,234	14	△2.3	99.0	33,531
	166期 (2016年 2月15日)	7,924	14	△3.6	98.8	32,062
	167期 (2016年 3月15日)	7,948	14	0.5	98.8	31,983
第29作成期	168期 (2016年 4月15日)	7,672	13	△3.3	98.9	30,579
	169期 (2016年 5月16日)	7,621	13	△0.5	98.7	30,167
	170期 (2016年 6月15日)	7,423	13	△2.4	98.9	29,192
	171期 (2016年 7月15日)	7,399	13	△0.1	98.8	28,876
	172期 (2016年 8月15日)	7,095	12	△3.9	98.7	27,542
	173期 (2016年 9月15日)	7,171	12	1.2	98.9	27,787
第30作成期	174期 (2016年10月17日)	7,263	12	1.5	98.9	27,902
	175期 (2016年11月15日)	7,451	12	2.8	98.9	28,564
	176期 (2016年12月15日)	8,035	13	8.0	98.6	29,987
	177期 (2017年 1月16日)	7,798	13	△2.8	98.8	28,435
	178期 (2017年 2月15日)	7,809	13	0.3	98.8	28,153
	179期 (2017年 3月15日)	7,759	13	△0.5	98.7	27,599
第31作成期	180期 (2017年 4月17日)	7,405	13	△4.4	98.6	26,166
	181期 (2017年 5月15日)	7,730	13	4.6	98.7	26,958
	182期 (2017年 6月15日)	7,491	13	△2.9	98.2	26,189
	183期 (2017年 7月18日)	7,627	13	2.0	98.6	26,334
	184期 (2017年 8月15日)	7,479	13	△1.8	97.8	26,092
	185期 (2017年 9月15日)	7,490	13	0.3	98.3	25,950

(注) 基準価額 (1万円当たり) の期中騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドは、「フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド」(以下「マザーファンド」) の受益証券を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注) マザーファンドを通じて投資をする投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定しておりません。

●過去6ヵ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基準価額	投資信託証券 組入比率	
			騰落率	組入比率
180期	(期首) 2017年 3月15日	円 7,759	% —	% 98.7
	3月末	7,638	△1.6	98.5
	(期末) 2017年 4月17日	7,418	△4.4	98.6
181期	(期首) 2017年 4月17日	7,405	—	98.6
	4月末	7,591	2.5	98.5
	(期末) 2017年 5月15日	7,743	4.6	98.7
182期	(期首) 2017年 5月15日	7,730	—	98.7
	5月末	7,584	△1.9	98.5
	(期末) 2017年 6月15日	7,504	△2.9	98.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

決算期	年 月 日	基準価額	投資信託証券 組入比率	
			騰落率	組入比率
183期	(期首) 2017年 6月15日	円 7,491	% —	% 98.2
	6月末	7,613	1.6	98.4
184期	(期首) 2017年 7月18日	7,627	—	98.6
	7月末	7,499	△1.7	98.1
185期	(期首) 2017年 8月15日	7,479	—	97.8
	8月末	7,511	0.4	98.1
186期	(期首) 2017年 9月15日	7,503	0.3	98.3
	9月末	7,503	0.3	98.3

●当作成期中の市場環境（2017年3月16日～2017年9月15日）

（米国金利とジニーメイ・パス・スルー証券市場）

米国10年国債利回りは、当作成期首の2.6%台前半から2.1%台後半まで低下し、当作成期末を迎えました。

当作成期首から2017年4月半ばにかけては、3月半ばに開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）で予想通り追加利上げが実施されたものの年内の利上げペースの加速が示唆されなかったことや、トランプ政権の経済政策の先行きに対する懸念などを背景に米国10年国債利回りは2.2%を下回る水準まで低下しました。5月上旬にかけては、フランス大統領選挙に対する懸念の後退、トランプ米大統領の税制改革案に対する期待、米連邦準備理事会（FRB）による追加利上げの示唆などから、利回りは2.4%近辺まで反転上昇しました。しかし、軟調な米経済指標やトランプ米政権とロシアとの不透明な関係をめぐる問題に対する懸念が広がったこと、6月のFOMCで事前の予想通り利上げが行われたものの米国の金融政策正常化が緩やかなペースで進むとの見方が強まったことなどから、米10年国債利回りは6月下旬には2.1%台半ばまで低下しました。

7月上旬にかけては、6月下旬に欧州中央銀行（ECB）のドラギ総裁が利上げに前向きな発言をするなど欧米の中央銀行高官による金融政策についてのタカ派的なコメントが相次いだことに加え、堅調な米経済指標の発表を受け、米国10年国債利回りは一旦2.3%台後半まで上昇しました。しかしながら、北朝鮮情勢が緊迫化するなど地政学リスクが高まったことや、米国のインフレ鈍化を受け、利回りは再び低下基調となり、9月上旬には年初来最低となる2.0%台前半まで低下しました。期末にかけ、利回りはやや上昇したものの米国10年国債利回りは当作成期首を下回る2.1%台後半で当作成期末を迎えました。

当作成期、ジニーメイ・パス・スルー証券市場は上昇しました。代表的な住宅ローン金利のひとつである米国連邦住宅貸付抵当公社の30年ローン金利（固定）の平均値は、3月半ばの4.2%前半か



ら9月半ばには3.7%台後半まで低下しました。住宅ローンの期限前返済による借り換えは増加しました。

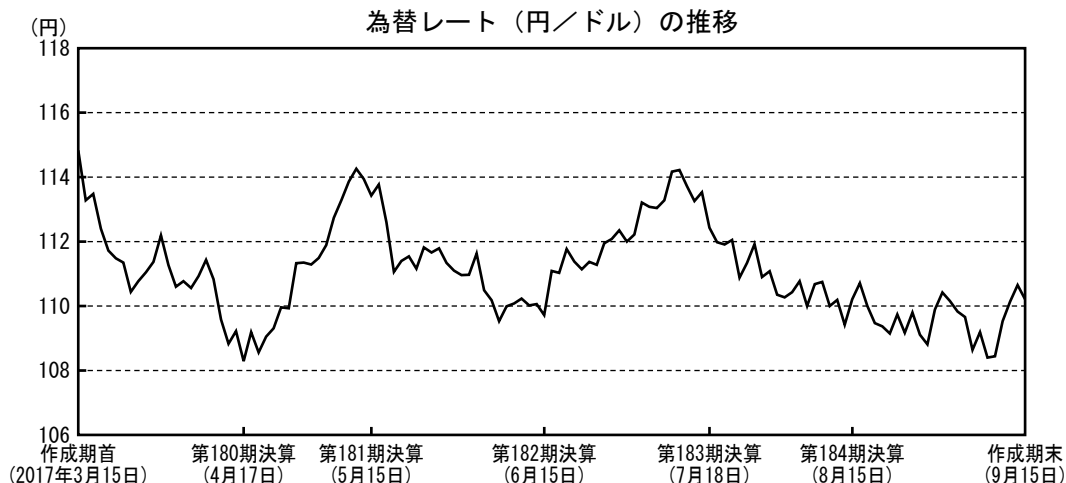
(外国為替市場)

米ドルの対円相場は、当作成期首の1米ドル114.83円から4円62銭の円高・ドル安となる1米ドル110.21円で当作成期を終えました(三菱東京UFJ銀行対顧客電信売買相場の仲値ベース)。

当作成期首から4月半ばまでは、3月半ばに開催されたFOMCで年内の利上げペースの加速が示唆されなかったことにより米長期金利が低下したことやトランプ大統領の政権運営への警戒感が高まったことから米ドルの対円相場は1米ドル108円台前半まで急落しました。その後5月半ばにかけては、4月下旬の米政府高官によるドル高容認発言や、フランス大統領選挙でのマクロン氏勝利などにより、1米ドル114円台まで急反発しました。

5月半ば以降は、FRBによる金融政策の正常化ペースが緩やかになるとの観測や米国の軟調なインフレ指標の発表を受け円高・ドル安が進行しましたが、金融政策の正常化に前向きな欧米の中央銀行高官の発言を受けて米長期金利が上昇し日米金利差が拡大したことなどから、6月半ばから再びドル高基調となり7月上旬には一時1米ドル114円台半ばまで上昇しました。

7月半ば以降は、米長期金利の低下や7月下旬に開催されたFOMCで低インフレの長期化に対する懸念が表明されたことなどを背景にドル安基調となりました。その後、9月には北朝鮮情勢の緊迫化や米国を襲ったハリケーンの影響に対する懸念から米長期金利が低下したことを受け、ドル円相場は一時1米ドル107円台前半まで急落しました。期末にかけては、北朝鮮情勢やハリケーン被害に対する過剰な懸念が後退したことからドルは急速に買い戻されたものの、米ドルの対円相場は当作成期首を下回る1米ドル110円台前半で当作成期を終えました。

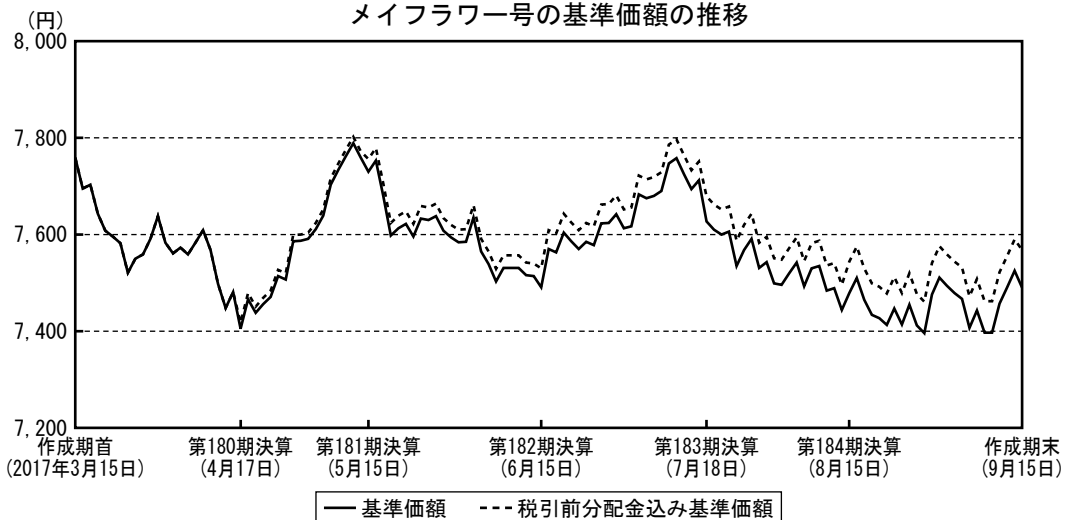


※為替レートは、三菱東京UFJ銀行対顧客電信売買相場の仲値です。

● 当作成期中の運用経過（2017年3月16日～2017年9月15日）

○ 基準価額の推移と主な変動要因

当ファンドの基準価額は、当作成期首の7,759円から269円下落し、当作成期末には7,490円となりました。なお、当作成期中にお支払いした分配金78円（税引前）を含む当作成期末の基準価額は7,568円となり、当作成期首に比べ2.5%下落しました。



(基準価額の変動要因)

当ファンドは、フランクリン・テンプレートン 米国政府証券マザーファンド（以下、「マザーファンド」）にほぼ100%投資しました。このため、基準価額はマザーファンドの値動きを反映したものとなりました。

ジニーメイ・パス・スルー証券が上昇しマザーファンドの投資対象ファンドの分配金込み基準価額（米ドル建て）が値上がりしたものの、米ドルが対円で下落したことが、当ファンドの基準価額の主な下落要因となりました。

○ 運用経過

(フランクリン・テンプレートン 米国政府証券ファンド (愛称：メイフラワー号))

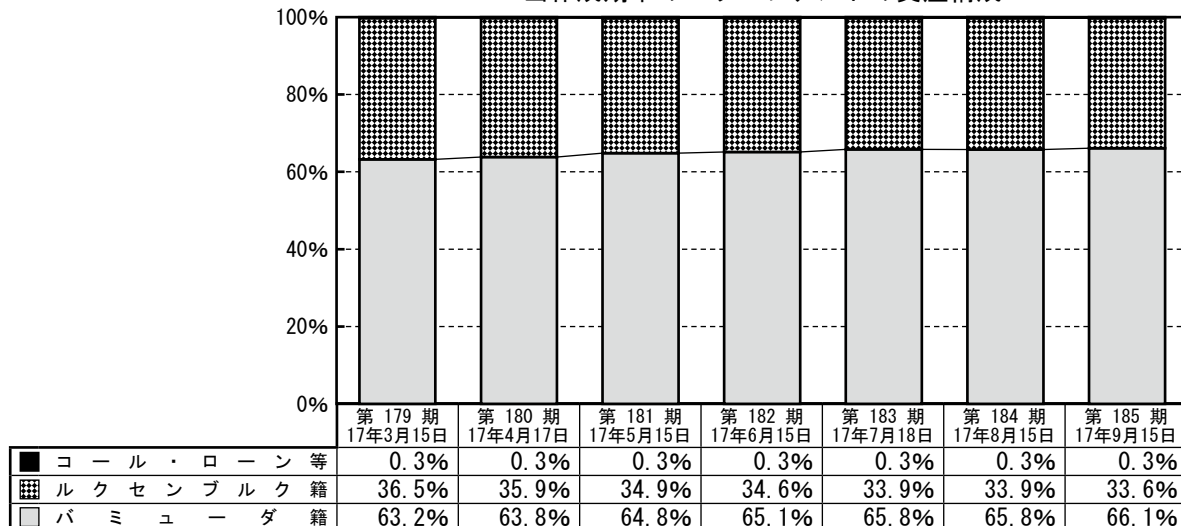
当ファンドでは、当作成期を通じてマザーファンドを高位に組入れ、当作成期末における組入比率は98.6%となりました。マザーファンドにおける当作成期末の組入比率は、「フランクリン・テンプレートン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」が66.1%、「フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズ・フランクリン U.S.ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」が33.6%、「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)」が0%となりました。

投資対象ファンドのうち米国籍ファンドへの配分は0%としているのは、米国における外国人投



資家への税制優遇措置の継続が不透明な状況となったことを受け、当該ファンドへの配分を見合わせて他の投資対象ファンドへ配分することが受益者の皆様の利益に資すると判断しているためです。

当作成期中のマザーファンドの資産構成



※ルクセンブルク籍：フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド

バミューダ籍：フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズII・ファンド

※構成比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

※比率は四捨五入しておりますので、合計数字が100%にならない場合があります。

*投資対象ファンドのうち米国籍ファンドへの配分は0としています。米国における外国人投資家への税制優遇措置の継続が不透明な状況となったことを受け、マザーファンドに対する影響を勘案し、他の投資対象ファンドへ配分することが受益者の皆様の利益に資すると判断したためです。

(フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドの投資対象ファンド)

当作成期も、独自の分析手法を用いて、主に証券価格が割安に推移していると判断されるジニーメイ・パス・スルー証券に着目して投資を行いました。

証券化プログラム*の違いによる証券価格形成に着目し、当作成期はジニーメイ I に比べジニーメイ II の組入比率を引き上げました。

また、クーポン別の組入れでは、3.5%のクーポン**を持つ証券の比率を引き上げ、4.5%のクーポンを持つ証券の比率を引き下げましたが、組入れの中心は3.5%および5.0%のクーポンを持つ証券となっています。

*証券化プログラムとは、住宅ローンを条件（金利、ローンの対象となる住宅等、ローンの開始日など）によって分類し、ジニーメイ・パス・スルー証券を組成していく工程のことです。ジニーメイ・パス・スルー証券には、ジニーメイ I とジニーメイ II の2種類の証券化プログラムがあります。

**クーポンとは、証券の額面に対する単年の利息の割合です。

※上記コメントは、マザーファンドにおける投資対象ファンドの運用担当者のコメントです。

●分配金

当ファンドは、当作成期中の毎決算時に配当等収益を中心に以下の収益分配を行いました。

なお、留保された収益の運用につきましては、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

第 180 期 2017年4月17日	第 181 期 2017年5月15日	第 182 期 2017年6月15日	第 183 期 2017年7月18日	第 184 期 2017年8月15日	第 185 期 2017年9月15日	当作成期間合計
13円	13円	13円	13円	13円	13円	78円

(注) 各期の分配金の金額は1万口当たり、税引前です。

●市場見通しと今後の運用方針

(フランクリン・テンプレトン 米国政府証券ファンド (愛称：メイフラワー号))

当ファンドは、「運用の基本方針」に基づき、引き続きフランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドへの投資を通じて、主に「フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズII・ファンド (バミューダ籍投資法人)」、「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ・フランクリン U.S.ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」に投資を行う方針です。「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)」への投資については、米国における外国人投資家への税制優遇の状況を勘案しながら判断してまいります。

(フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドの投資対象ファンド)

2017年8月末時点において、米国国債利回りが5年債、10年債でそれぞれ1.7%、2.1%程度であったのに対し、ジニーメイ・パス・スルー証券 (新発債) の利回りは2.7%程度と相対的に魅力的な利回り水準にありました。

7月のFOMC議事録では、今後の利上げ時期を巡り理事の意見は分かれたものの、FRBのバランスシート縮小に関しては、ほとんどの理事が早期の開始を支持していたことが明らかになりました。また、FRBの経済見通しについては6月のFOMC時点から変更はありませんでした。

ジニーメイ・パス・スルー証券を含むエージェンシーMBS (米国政府または政府関連機関が元利金支払を保証している住宅ローン担保証券) の米国国債に対するスプレッドは歴史的低水準にあるなか、エージェンシーMBSの価格は適正水準にあると考えます。FRBは、量的緩和で膨らんだ保有資産を縮小するため、住宅ローン担保証券については、再投資の見送り額を当初は毎月40億米ドルから始め、その後、最終的に月額200億米ドルに達するまで四半期ごとに40億米ドルずつ増やしていく方針を示しました。この保有資産の縮小は早ければ2017年9月から実施されるとみえますが、FRBが指摘しているように経済状況により流動的だと思われれます。なお、エージェンシーMBSの中で期限前償還の対象と成り得るクーポン水準の債券が減少していることや住宅ローンの審査基準が依然厳しいため、期限前償還は限定的と考えます。

ジニーメイ・パス・スルー証券は米国政府が元利金の期日通りの支払いを保証する住宅ローン担保証券であり、実質的に米国国債と同等の信用力を有すると考えられています。上記の投資環境の



FRANKLIN TEMPLETON
INVESTMENTS

下において、より有利な投資機会の発掘のために同証券を構成する住宅ローンに対する精査をさらに徹底してまいります。期限前償還リスクを適切に評価し、投資対象証券の本来の価値と市場価格との乖離を特定することで、より投資妙味のある証券への投資を行う方針です。

※上記コメントは、マザーファンドにおける投資対象ファンドの運用担当者のコメントです。

引き続きメイフラワー号をご愛顧くださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

●1万口当たりの費用明細

項目	当作成期 2017年3月16日～2017年9月15日		項目の概要
	金額(円)	比率(%)	
(a) 信託報酬	29	0.381	(a) 信託報酬＝〔作成期間の平均基準価額〕×信託報酬率、作成期間の平均基準価額は7,572円です。 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、開示資料作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
（投信会社）	(11)	(0.142)	
（販売会社）	(16)	(0.218)	
（受託会社）	(2)	(0.022)	
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用＝ $\frac{〔作成期間のその他費用〕}{〔作成期間の平均受益権口数〕}$ その他費用 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、金銭信託預入に係る手数料等
（保管費用）	(0)	(0.000)	
（監査費用）	(0)	(0.003)	
（その他）	(0)	(0.000)	
合計	29	0.384	

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。各項目の費用は、マザーファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては交付運用報告書の「マザーファンドの組入上位ファンドの概要」に表示しております。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

●売買及び取引の状況（2017年3月16日から2017年9月15日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期	第 180 期		第 185 期	
	設 定	定 額	解 除	約 約
	口 数	金 額	口 数	金 額
フランクリン・テンプレートン 米国政府証券マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 777,446	千円 1,181,050

(注) 口数・金額の単位未満は切捨てです。

●利害関係人との取引状況等（2017年3月16日から2017年9月15日まで）

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

●投資信託財産と委託会社との間の取引状況（2017年3月16日から2017年9月15日まで）

委託会社が行う第二種金融商品取引業に係る業務において、当期中の投資信託財産との取引はありません。



●組入資産の明細

(1) 親投資信託残高

種 類	第 30 作 成 期 末 (2017年3月15日現在)	第 31 作 成 期 末 (2017年9月15日現在)	
	口 数	口 数	評 価 額
フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド	千口 17,838,092	千口 17,060,646	千円 25,579,027

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 親投資信託の2017年9月15日現在の受益権総口数は、17,060,646,567口です。

(2) フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドの組入有価証券明細

下記は、フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド（17,060,646千口）が組み入れている投資対象ファンドの明細です。

外国投資証券

銘 柄	第 30 作 成 期 末 (2017年3月15日現在)	第 31 作 成 期 末 (2017年9月15日現在)		
	口 数	口 数	評 価 額	
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
(ルクセンブルク) フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ フランクリン U.S.ガバメント・ファンド	千口 9,094	千口 8,104	千米ドル 78,041	千円 8,600,959
(バミューダ) フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズII・ファンド	15,741	15,948	153,420	16,908,521
合 計	口 数 ・ 金 額 24,835	口 数 ・ 金 額 24,052	231,462	25,509,481
	銘 柄 数 <比 率> 2	銘 柄 数 <比 率> 2	-	<99.7%>

(注) 外貨建資産の邦貨換算は、当作成期末のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。(1米ドル=110.21円)

(注) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、マザーファンドの純資産総額（25,688,531千円）に対する外国投資証券の比率です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

●投資信託財産の構成

(2017年9月15日現在)

項 目	第 31 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド	千円 25,579,027	% 98.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	468,445	1.8
投 資 信 託 財 産 総 額	26,047,472	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 当作成期末におけるフランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドの外貨建純資産（25,688,531千円）の投資信託財産総額（25,706,125千円）に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産の評価額は、当作成期末のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。(1米ドル=110.21円)

●資産、負債、元本及び基準価額の状況

	(2017年4月17日)	(2017年5月15日)	(2017年6月15日)	(2017年7月18日)	(2017年8月15日)	(2017年9月15日)現在
項 目	第180期末	第181期末	第182期末	第183期末	第184期末	第185期末
(A) 資 産	26,267,240,664円	27,198,099,548円	26,324,890,831円	26,438,775,433円	26,173,789,825円	26,047,472,829円
コール・ローン等	279,425,722	415,426,203	540,061,810	396,486,960	583,844,543	357,825,432
フランクリン・テンブルトン 米国政府証券マザーファンド(詳細)	25,879,013,942	26,668,758,345	25,784,829,021	26,042,288,473	25,589,945,282	25,579,027,397
未 収 入 金	108,801,000	113,915,000	—	—	—	110,620,000
(B) 負 債	100,282,236	239,816,955	135,618,412	104,558,460	80,823,011	97,366,778
未払収益分配金	45,938,355	45,337,600	45,452,130	44,887,573	45,355,225	45,040,093
未払解約金	35,810,508	178,834,103	73,017,139	41,340,392	20,179,862	35,552,427
未払信託報酬	18,391,461	15,524,903	17,016,880	18,189,699	15,169,700	16,645,227
未 払 利 息	794	1,182	1,552	1,128	1,597	979
その他未払費用	141,118	119,167	130,711	139,668	116,627	128,052
(C) 純資産総額(A-B)	26,166,958,428	26,958,282,593	26,189,272,419	26,334,216,973	26,092,966,814	25,950,106,051
元 本	35,337,196,762	34,875,077,407	34,963,177,114	34,528,902,751	34,888,634,797	34,646,225,756
次期繰越損益金	△ 9,170,238,334	△ 7,916,794,814	△ 8,773,904,695	△ 8,194,685,778	△ 8,795,667,983	△ 8,696,119,705
(D) 受益権総口数	35,337,196,762口	34,875,077,407口	34,963,177,114口	34,528,902,751口	34,888,634,797口	34,646,225,756口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,405円	7,730円	7,491円	7,627円	7,479円	7,490円

●損益の状況

	第180期 (自2017年3月16日 至2017年4月17日)	第181期 (自2017年4月18日 至2017年5月15日)	第182期 (自2017年5月16日 至2017年6月15日)	第183期 (自2017年6月16日 至2017年7月18日)	第184期 (自2017年7月19日 至2017年8月15日)	第185期 (自2017年8月16日 至2017年9月15日)
項 目	第 180 期	第 181 期	第 182 期	第 183 期	第 184 期	第 185 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 26,501円	△ 23,234円	△ 35,429円	△ 35,589円	△ 37,520円	△ 39,747円
受 取 利 息	23	—	—	—	—	—
支 払 利 息	△ 26,524	△ 23,234	△ 35,429	△ 35,589	△ 37,520	△ 39,747
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 1,184,427,375	1,194,078,835	△ 766,212,530	531,981,434	△ 449,464,759	100,371,837
売 買 益	5,938,428	1,208,530,531	5,819,974	542,380,521	2,821,109	100,604,007
売 買 損	△ 1,190,365,803	△ 14,451,696	△ 772,032,504	△ 10,399,087	△ 452,285,868	△ 232,170
(C) 信 託 報 酬 等	△ 18,533,631	△ 15,647,267	△ 17,149,777	△ 18,330,522	△ 15,288,637	△ 16,773,279
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A+B+C)	△ 1,202,987,507	1,178,408,334	△ 783,397,736	513,615,323	△ 464,790,916	83,558,811
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 487,351,792	△ 1,710,898,833	△ 570,798,289	△ 1,376,724,401	△ 899,050,092	△ 1,395,803,487
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 7,433,960,680	△ 7,338,966,715	△ 7,374,256,540	△ 7,286,689,127	△ 7,386,471,750	△ 7,338,834,936
(配当等相当額)	(282,953,571)	(283,108,004)	(319,893,618)	(326,097,227)	(377,919,448)	(381,819,781)
(売買損益相当額)	(△ 7,716,914,251)	(△ 7,622,074,719)	(△ 7,694,150,158)	(△ 7,612,786,354)	(△ 7,764,391,198)	(△ 7,720,654,717)
(G) 計 (D+E+F)	△ 9,124,299,979	△ 7,871,457,214	△ 8,728,452,565	△ 8,149,798,205	△ 8,750,312,758	△ 8,651,079,612
(H) 収 益 分 配 金	△ 45,938,355	△ 45,337,600	△ 45,452,130	△ 44,887,573	△ 45,355,225	△ 45,040,093
次期繰越損益金(G+H)	△ 9,170,238,334	△ 7,916,794,814	△ 8,773,904,695	△ 8,194,685,778	△ 8,795,667,983	△ 8,696,119,705
追加信託差損益金	△ 7,433,960,680	△ 7,338,966,715	△ 7,374,256,540	△ 7,286,689,127	△ 7,386,471,750	△ 7,338,834,936
(配当等相当額)	(282,988,364)	(283,117,374)	(320,517,113)	(326,164,785)	(378,432,582)	(381,846,072)
(売買損益相当額)	(△ 7,716,949,044)	(△ 7,622,084,089)	(△ 7,694,773,653)	(△ 7,612,853,912)	(△ 7,764,904,332)	(△ 7,720,681,008)
分配準備積立金	2,481,632,704	2,454,455,268	2,415,918,457	2,385,456,940	2,354,241,531	2,331,652,809
繰越損益金	△ 4,217,910,358	△ 3,032,283,367	△ 3,815,566,612	△ 3,293,453,591	△ 3,763,437,764	△ 3,688,937,578

(注) (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。



<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

- (1) 当ファンドの第180期首元本額は35,569,584,499円、当作成期中(第180期から第185期)における追加設定元本額は1,656,595,606円、同期中における一部解約元本額は、2,579,954,349円です。
- (2) 貸借対照表上の純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は8,696,119,705円です。
- (3) 1口当たり純資産額は、第180期0.7405円、第181期0.7730円、第182期0.7491円、第183期0.7627円、第184期0.7479円、第185期0.7490円です。

(損益及び剰余金計算書関係)

分配金の計算過程

- (1) 第180期(自2017年3月16日 至2017年4月17日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(35,578,601円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(282,988,364円)及び分配準備積立金(2,491,992,458円)より、分配対象収益は、2,810,559,423円であり、うち45,938,355円(一万口当たり13円)を分配金額としております。

- (2) 第181期(自2017年4月18日 至2017年5月15日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(54,433,681円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(283,117,374円)及び分配準備積立金(2,445,359,187円)より、分配対象収益は、2,782,910,242円であり、うち45,337,600円(一万口当たり13円)を分配金額としております。

- (3) 第182期(自2017年5月16日 至2017年6月15日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(36,776,031円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(320,517,113円)及び分配準備積立金(2,424,594,556円)より、分配対象収益は、2,781,887,700円であり、うち45,452,130円(一万口当たり13円)を分配金額としております。

- (4) 第183期(自2017年6月16日 至2017年7月18日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(53,994,516円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(326,164,785円)及び分配準備積立金(2,376,349,997円)より、分配対象収益は、2,756,509,298円であり、うち44,887,573円(一万口当たり13円)を分配金額としております。

- (5) 第184期(自2017年7月19日 至2017年8月15日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(37,643,896円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(378,432,582円)及び分配準備積立金(2,361,952,860円)より、分配対象収益は、2,778,029,338円であり、うち45,355,225円(一万口当たり13円)を分配金額としております。

- (6) 第185期(自2017年8月16日 至2017年9月15日)

計算期間末における解約に伴う当期純損益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(44,825,650円)、解約に伴う当期純損益金額分配後の有価証券売買等損益から、費用を控除し繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(381,846,072円)及び分配準備積立金(2,331,867,252円)より、分配対象収益は、2,758,538,974円であり、うち45,040,093円(一万口当たり13円)を分配金額としております。

●分配金のお知らせ（1万口当たり、税引前）

第1作成期 2002年3月26日～ 2002年9月17日	第2作成期 2002年9月18日～ 2003年3月17日	第3作成期 2003年3月18日～ 2003年9月16日	第4作成期 2003年9月17日～ 2004年3月15日	第5作成期 2004年3月16日～ 2004年9月15日	第6作成期 2004年9月16日～ 2005年3月15日
204円	223円	227円	209円	210円	197円
第7作成期 2005年3月16日～ 2005年9月15日	第8作成期 2005年9月16日～ 2006年3月15日	第9作成期 2006年3月16日～ 2006年9月15日	第10作成期 2006年9月16日～ 2007年3月15日	第11作成期 2007年3月16日～ 2007年9月18日	第12作成期 2007年9月19日～ 2008年3月17日
199円	208円	204円	210円	209円	192円
第13作成期 2008年3月18日～ 2008年9月16日	第14作成期 2008年9月17日～ 2009年3月16日	第15作成期 2009年3月17日～ 2009年9月15日	第16作成期 2009年9月16日～ 2010年3月15日	第17作成期 2010年3月16日～ 2010年9月15日	第18作成期 2010年9月16日～ 2011年3月15日
183円	154円	141円	134円	126円	112円
第19作成期 2011年3月16日～ 2011年9月15日	第20作成期 2011年9月16日～ 2012年3月15日	第21作成期 2012年3月16日～ 2012年9月18日	第22作成期 2012年9月19日～ 2013年3月15日	第23作成期 2013年3月16日～ 2013年9月17日	第24作成期 2013年9月18日～ 2014年3月17日
97円	93円	73円	75円	76円	76円
第25作成期 2014年3月18日～ 2014年9月16日	第26作成期 2014年9月17日～ 2015年3月16日	第27作成期 2015年3月17日～ 2015年9月15日	第28作成期 2015年9月16日～ 2016年3月15日	第29作成期 2016年3月16日～ 2016年9月15日	第30作成期 2016年9月16日～ 2017年3月15日
78円	83円	84円	84円	76円	76円

* 作成期：6期分合計

第31作成期						設定以来合計
第180期 2017年4月17日	第181期 2017年5月15日	第182期 2017年6月15日	第183期 2017年7月18日	第184期 2017年8月15日	第185期 2017年9月15日	
13円	13円	13円	13円	13円	13円	4,391円



●分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

	第180期 2017年3月16日～ 2017年4月17日	第181期 2017年4月18日～ 2017年5月15日	第182期 2017年5月16日～ 2017年6月15日	第183期 2017年6月16日～ 2017年7月18日	第184期 2017年7月19日～ 2017年8月15日	第185期 2017年8月16日～ 2017年9月15日
当期分配金	13	13	13	13	13	13
(対基準価額比率)	0.175%	0.168%	0.173%	0.170%	0.174%	0.173%
当期の収益	10	13	10	13	10	12
当期の収益以外	2	—	2	—	2	0
翌期繰越分配対象額	782	784	782	785	783	783

(注) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税引前)に合致しない場合があります。

(注) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

◇分配金の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」があります。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド

《第15期》

決算日：2017年3月15日

(計算期間：2016年3月16日～2017年3月15日)

《運用報告書》

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

<p>運用方針</p>	<p>この投資信託は、信託財産の着実な成長と安定的な収益の確保を図ることを目指してファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行うことを基本方針とします。 主として米国ジニーメイ・パス・スルー証券（政府抵当金庫パス・スルー証券）等の米国高格付け証券に実質的な投資を行います。</p>
<p>主要投資対象</p>	<p>主として「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド（米国籍投資法人）」、「フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド（ルクセンブルク籍投資法人）」および「フランクリン・テンプルトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド（バミューダ籍投資法人）」等への投資を通じて、米国ジニーメイ・パス・スルー証券等の米国高格付け証券に実質的な投資を行います。</p>
<p>組入制限</p>	<p>外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p>



●最近5期の運用実績

決算期	基準価額		フランクリン U. S. ガバメント・ セキュリティーズ・ ファンド (米国籍投資法人) 組入比率	フランクリン・ テンプレトン・ インベストメント・ ファンズ -フランクリン U. S. ガバメント・ ファンド (ルクセンブルク籍投資法人) 組入比率	フランクリン・ テンプレトン U. S. ガバメント・ セキュリティーズⅡ・ ファンド (バミューダ籍投資法人) 組入比率	純資産総額
	円	騰落率 %				
第11期(2013年3月15日)	12,177	16.3	21.4	21.2	57.3	百万円 57,799
第12期(2014年3月17日)	12,977	6.6	20.3	22.8	56.9	43,682
第13期(2015年3月16日)	16,020	23.4	—	39.9	59.9	40,380
第14期(2016年3月15日)	15,261	△4.7	—	39.7	60.1	31,684
第15期(2017年3月15日)	15,318	0.4	—	36.5	63.2	27,325

(注) 当ファンドの投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定しておりません。

●当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額		フランクリン U. S. ガバメント・ セキュリティーズ・ ファンド (米国籍投資法人) 組入比率	フランクリン・ テンプレトン・ インベストメント・ ファンズ -フランクリン U. S. ガバメント・ ファンド (ルクセンブルク籍投資法人) 組入比率	フランクリン・ テンプレトン U. S. ガバメント・ セキュリティーズⅡ・ ファンド (バミューダ籍投資法人) 組入比率
	円	騰落率 %			
(期首) 2016年 3月15日	15,261	—	—	39.7	60.1
3月末	15,144	△0.8	—	39.4	60.4
4月末	14,760	△3.3	—	39.7	60.1
5月末	14,955	△2.0	—	39.6	60.2
6月末	13,961	△8.5	—	39.5	60.3
7月末	14,158	△7.2	—	39.9	59.8
8月末	14,021	△8.1	—	39.9	59.9
9月末	13,783	△9.7	—	39.9	59.9
10月末	14,261	△6.6	—	40.1	59.7
11月末	15,147	△0.7	—	39.9	59.9
12月末	15,631	2.4	—	38.6	61.1
2017年 1月末	15,269	0.1	—	38.2	61.6
2月末	15,168	△0.6	—	37.3	62.5
(期末) 2017年 3月15日	15,318	0.4	—	36.5	63.2

(注) 騰落率は期首比です。

●当期中の市場環境（2016年3月16日～2017年3月15日）**（米国金利とジニーメイ・パス・スルー証券市場）**

当期の米国10年国債利回りは、期首の1.9%台後半から2.6%台前半まで上昇し、当期末を迎えました。

期首から2016年7月上旬にかけては、軟調な米経済指標の発表や6月23日に行われた英国の欧州連合（EU）離脱の是非を問う国民投票が離脱という予想外の結果となったことなどを受け、米連邦準備理事会（FRB）による追加利上げ観測が後退したことから、米国10年国債利回りは期首の1.9%台後半から1.3%台半ばまで低下しました。しかし、9月中旬にかけては、英国のEU離脱の世界経済への影響は限定的であるとの見方が広がったことや堅調な米経済指標を背景とした追加利上げ観測などから米国10年国債利回りは1.7%近辺まで上昇しました。

11月上旬にかけては、米国の堅調な経済指標などからFRBによる利上げ観測が高まり、米国10年国債利回りは上昇基調で推移しましたが、米大統領選において、市場の予想に反してトランプ氏が勝利したことから世界の金融市場は値動きの荒い展開となりました。その後、トランプ氏が掲げる減税や積極的な財政政策への期待や12月のFRBによる追加利上げ決定を受け、米国10年国債利回りは12月中旬にかけ上昇基調が続き2.6%近辺まで上昇しました。しかし、2017年1月以降は、米国経済は堅調を維持したものの欧州の政治リスクが意識されたことやトランプ政権の政策に対する不透明感などから、米国10年国債利回りは2.4%を挟んだ方向感に欠ける展開となりました。

期末にかけては、堅調な経済指標を背景にFRB関係者が3月の追加利上げを示唆したことやトランプ大統領の税制改革案に対する期待などから米国10年国債利回りは上昇し、期首を大きく上回る2.6%台前半で当期を終えました。

当期、ジニーメイ・パス・スルー証券市場は下落しました。代表的な住宅ローン金利のひとつである米国連邦住宅貸付抵当公社の30年ローン金利（固定）の平均値は、2016年3月半ばの3.7%台前半から2017年3月半ばには4.2%台前半まで上昇しました。住宅ローン金利が上昇したことから住宅ローンの期限前返済による借り換え件数は減少しました。



(外国為替市場)

米ドルの対円相場は、期首の1米ドル113.90円から0.93円の円安・ドル高となる1米ドル114.83円で当期末を迎えました（三菱東京UFJ銀行対顧客電信売買相場の仲値ベース）。

期首から2016年6月中旬にかけては、弱い米経済指標から米ドルの対円相場はドル安基調が続きました。6月23日の英国国民投票でEU離脱という予想外の結果となったことを受け、ドルは、一時1米ドル99円台前半まで急落するなど値動きの荒い展開となりました。7月中旬以降は、英国のEU離脱の世界経済に対する影響は限定的であるとの見方が広がる一方、日銀の金融緩和策の内容が市場の期待を下回ったことや米大統領選を巡る不透明感から、ドル円相場は方向感に欠ける展開となりました。市場の注目が集まった11月の米大統領選の結果、市場の予想に反しトランプ氏が勝利したことで投資家のリスク回避姿勢が強まり、ドル売り圧力が高まったものの、トランプ氏が掲げる政策や12月のFOMCでの追加利上げ決定による米国金利の上昇を受け、ドルは急騰し年末にかけては1米ドル117円近辺で推移しました。

2017年1月以降は、トランプ大統領の保護主義的な政策に対する懸念や同大統領のドル高けん制発言などを受けドル売り圧力が高まり、2月上旬には一時1米ドル111円台まで下落しました。しかし、当期末にかけては、底堅い米経済指標や米株式市場の上昇を受けて米長期金利が上昇したことからドルは堅調に推移し、期首をやや上回る1米ドル114円台後半で当期を終えました。



※為替レートは、三菱東京UFJ銀行対顧客電信売買相場の仲値です。

●当期中の運用経過（2016年3月16日～2017年3月15日）

○基準価額の推移と主な変動要因

基準価額は、期首の15,261円から57円値上がりして期末には15,318円となりました。



(基準価額の変動要因)

ジニーメイ・パス・スルー証券が下落し投資対象ファンド（米ドル建て）は値下がりしたものの、米ドルが対円で上昇したことが、基準価額の主な上昇要因となりました。

○運用経過

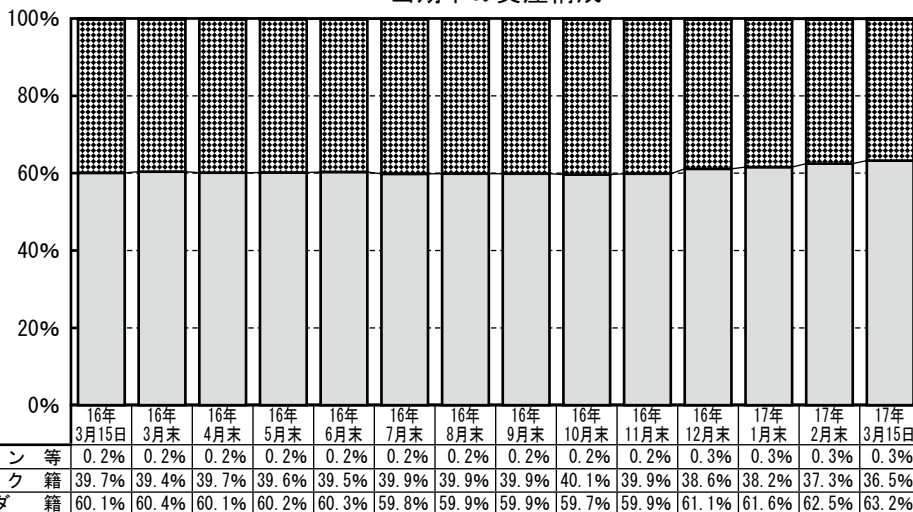
(マザーファンド)

マザーファンドにおける当期末の投資対象ファンドの組入比率は、「フランクリン・テンプルトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド（バミューダ籍投資法人）」が63.2%、「フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド（ルクセンブルク籍投資法人）」が36.5%、「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド（米国籍投資法人）」が0%となりました。

当期中に投資対象ファンドのうち米国籍ファンドへの配分を0%としたのは、米国における外国人投資家への税制優遇措置の継続が不透明な状況となったことを受け、当該ファンドへの配分を見合わせて他の投資対象ファンドへ配分することが受益者の皆様の利益に資すると判断したためです。



当期中の資産構成



※米国籍：フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド

ルクセンブルク籍：フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド

バミューダ籍：フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド

※構成比率は純資産総額に対する比率です。

※比率は四捨五入しておりますので、合計数字が100%にならない場合があります。

*投資対象ファンドのうち米国籍ファンドへの配分は0としています。米国における外国人投資家への税制優遇措置の継続が不透明な状況となったことを受け、マザーファンドに対する影響を勘案し、他の投資対象ファンドへ配分することが受益者の皆様の利益に資すると判断したためです。

(投資対象ファンド)

当期も、独自の分析手法を用いて価格が割安に推移していると判断されるジニーメイ・パス・スルー証券に着目して投資を行いました。

証券化プログラム*の違いによる価格形成に着目した投資では、当期はジニーメイⅡの組入比率がジニーメイⅠの組入比率を上回りました。

また、クーポン別の組入れでは、3.0%と3.5%のクーポン**を持つ証券の比率を引き上げ、4.0%から5.0%のクーポンを持つ証券の比率を引き下げましたが、組入れの中心は3.5%－5.0%のクーポンを持つ証券となっています。

*証券化プログラムとは、住宅ローンを中心に（金利、ローンの対象となる住宅等、ローンの開始日など）によって分類し、ジニーメイ・パス・スルー証券を組成していく工程のことです。ジニーメイ・パス・スルー証券には、ジニーメイⅠとジニーメイⅡの2種類の証券化プログラムがあります。

**クーポンとは、証券の額面に対する単年の利息の割合です。

※上記コメントは、マザーファンドにおける投資対象ファンドの運用担当者のコメントです。

●市場見通しと今後の運用方針

(マザーファンド)

ファンドは、「運用の基本方針」に基づき、主に「フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・セキュリティーズII・ファンド（バミューダ籍投資法人）」、「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ-フランクリン U.S.ガバメント・ファンド（ルクセンブルク籍投資法人）」に投資を行う方針です。「フランクリン U.S.ガバメント・セキュリティーズ・ファンド（米国籍投資法人）」については米国における外国人投資家への税制優遇の状況を勘案しながら判断してまいります。

また、投資対象ファンド全体の組入比率は高位を維持します。為替ヘッジは行わないことを原則とします。

(投資対象ファンド)

2017年2月末時点において、米国国債利回りが5年債、10年債でそれぞれ1.9%、2.4%程度であったのに対し、ジニーメイ・パス・スルー証券の利回りは2.9%程度と米国国債と比べて魅力的な利回り水準にありました。

ジニーメイ・パス・スルー証券を含むエージェンシーMBS（米国政府または政府関連機関が元利支払い保証しておく住宅ローン担保証券）の米国国債に対するスプレッドが過去最低水準にあるなか、エージェンシーMBSは概ねファンダメンタルズを反映した水準にあると考えます。FRBが保有するモーゲージ証券の償還金の再投資を継続したことや供給（発行）が減少したことがスプレッド縮小に影響したと考えます。

しかし、FRBによる再投資が終了した場合、FRBに代わる投資家が現れるまで市場は供給（発行）の影響をより受けやすくなると考えます。銀行、不動産投資信託、海外投資家がFRBに代わる投資家として考えられますが、現在のFRBの再投資額を埋め合わせるためには、それら投資家のポートフォリオにおいてMBSセクターへの資金配分が増加する必要があると考えます。対米国国債のスプレッドが縮小しているなか、FRBによる再投資の終了時期が近づくことで、今後エージェンシーMBSのスプレッドの変動性はより高まると考えます。また、FRBは将来的に、拡大したバランスシートを縮小する必要があると指摘していますが、FRBによる再投資の終了時期については不透明であり、再投資は今年以降も継続される可能性があります。一方、足元における住宅ローン金利の上昇に伴い期限前償還は減少するものと考えます。

ジニーメイ・パス・スルー証券は米国政府の一機関であるジニーメイ（米国政府抵当金庫）が元利金の期日通りの支払いを保証する住宅ローン担保証券であり、実質的に米国国債と同等の信用力を有すると考えられます。上記の投資環境の下において、個別証券に対する精査を徹底し、期限前償還リスクを適切に評価し、投資対象証券の本来の価値と市場価値との乖離を特定することで、より投資妙味のある証券への投資を継続する方針です。

※上記コメントは、投資対象ファンドの運用担当者のコメントです。



●1万口当たりの費用明細

項目	当期 2016年3月16日～2017年3月15日		項目の概要
	金額(円)	比率(%)	
その他費用 (保管費用)	0 (0)	0.000 (0.000)	期中の平均基準価額は14,688円です。 $\text{その他費用} = \frac{\text{[期中のその他費用]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}}$ その他費用 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	0	0.000	

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては交付運用報告書の「マザーファンドの組入上位ファンドの概要」に表示しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

●売買及び取引の状況(2016年3月16日から2017年3月15日まで)

外国投資証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	ルクセンブルク	フランクリン・templton・インベストメント・ファンズー フランクリン U.S.ガバメント・ファンド	千口 223	千ドル 2,184	千口 2,360	千ドル 22,900
	バミューダ	フランクリン・templton U.S. ガバメント・セキュリティーズII・ファンド	416	4,083	1,678	16,500

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 口数・金額の単位未満は切捨てです。

●利害関係人との取引状況等(2016年3月16日から2017年3月15日まで)

当期中の利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

●投資信託財産と委託会社との間の取引状況(2016年3月16日から2017年3月15日まで)

委託会社が行う第二種金融商品取引業に係る業務において、当期中の投資信託財産との取引はありません。

●ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建外国投資証券の明細

ファンド名	期首(前期末) (2016年3月15日現在)	当期 (2017年3月15日現在)			比率
	口数	口数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ルクセンブルク) フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ ファンズ-フランクリン U.S.ガバメント・ファンド	千口 11,232	千口 9,094	千米ドル 86,852	千円 9,973,229	% 36.5
(バミューダ) フランクリン・テンプレトン U.S.ガバメント・ セキュリティーズⅡ・ファンド	17,003	15,741	150,484	17,280,114	63.2
合計	口数・金額 銘柄数<比率>	28,235 2	24,835 2	237,336 -	27,253,344 -<99.7%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。(1米ドル=114.83円)

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

●投資信託財産の構成

(2017年3月15日現在)

項目	当期	期末
	評価額	比率
外国投資証券	千円 27,253,344	% 99.7
コール・ローン等、その他	91,848	0.3
投資信託財産総額	27,345,192	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 当期末における外貨建て純資産(27,325,093千円)の投資信託財産総額(27,345,192千円)に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。(1米ドル=114.83円)



●資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2017年3月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	27,345,192,851円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	71,749,225
投 資 証 券 (評価額)	27,253,344,424
未 収 配 当 金	20,099,202
(B) 負 債	20,099,201
未 払 金	20,099,201
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	27,325,093,650
元 本	17,838,092,803
次 期 繰 越 損 益 金	9,487,000,847
(D) 受 益 権 総 口 数	17,838,092,803口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,318円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

- 期首元本額は20,761,765,902円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は2,923,673,099円です。
- 当ファンドの期末元本額 17,838,092,803円
元本の内訳
フランクリン・テンブルトン米国政府証券ファンド 17,838,092,803円
- 期末における1口当たり純資産額は1,5318円です。

●損益の状況

(自2016年3月16日 至2017年3月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	718,239,789円
受 取 配 当 金	718,239,789
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 716,229,966
売 買 益	250,735,525
売 買 損	△ 966,965,491
(C) 信 託 報 酬 等	△ 98,754
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	1,911,069
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	10,922,837,379
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 1,437,747,601
(G) 計 (D + E + F)	9,487,000,847
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	9,487,000,847

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みません。

(注) (C)信託報酬等とは、海外保管銀行の費用です。

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズー フランクリン U.S.ガバメント・ファンドの運用状況について

2017年6月30日決算

(計算期間：2016年7月1日～2017年6月30日)

フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンドは、フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド（ファンド・オブ・ファンズ形式）が投資対象とする外国投資法人です。

当ファンドの決算は、年1回（毎年6月末）です。したがって、直前の計算期末である2017年6月30日時点までの運用状況をお知らせします。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

設定形態	ルクセンブルク籍投資法人／オープンエンド型／米ドル建て ^{注1}
投資目的	金利収入と元本の安全性の確保を投資目的とします。
主な投資戦略	主として米国政府および米国政府機関が発行あるいは保証する証券に投資を行うことにより、投資目的を達成することを企図しています。 * 資金動向、市況動向によっては、上記のような運用ができない場合があります。
関係法人	運用会社：フランクリン・アドバイザーズ・インク 管理会社：フランクリン・テンプルトン・インターナショナル・サービシーズ・エス・エー・アール・エル 保管銀行：JPモルガン・バンク・ルクセンブルク・エス・エー
費用 ^{注2}	申込手数料：かかりません 運用報酬：年0.40% 管理会社報酬：年0.20%以内 保管銀行報酬：年0.01%～年0.14%

(注1) 当ファンドのマザーファンドは、フランクリン U.S.ガバメントファンドのClass I(Mdis)（米ドル建て）に投資します。

(注2) 当ファンドのマザーファンドが投資を行うClass I(Mdis)のものです。

この他に監査費用、組入れ有価証券の売買委託手数料等取引に要する費用等がかかります。

フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズー
フランクリン U.S.ガバメント・ファンド
損益および純資産変動計算書
2017年6月30日に終了した計算期間

(米ドル)

期首純資産	1, 211, 181, 698
収益	
債券利息 (税引後)	29, 554, 752
預金利息	2, 009
その他収益	30, 572
収益合計	29, 587, 333
費用	
運用報酬	6, 065, 513
管理会社報酬	2, 360, 612
保管銀行報酬	35, 548
監査費用	13, 754
その他費用	4, 168, 164
費用合計	12, 643, 591
関係法人からの費用戻入	(168, 787)
純費用合計	12, 474, 804
投資純収益	17, 112, 529
投資有価証券売買に係る実現純損失	(10, 011, 850)
外国為替先渡契約に係る実現純損失	(2, 596, 588)
外国為替取引に係る実現純利益	4, 543
当期実現利益	4, 508, 634

投資未実現評価損	(25,642,527)
外国為替先渡契約未実現評価益	3,249,684
外国為替取引未実現評価益	3,249,697
	<hr/>
運用による純資産の減少額	(14,634,512)
元本異動等	
追加設定額	519,271,873
解約額	(844,094,873)
追加設定・一部解約時の収益調整	(455,085)
	<hr/>
	(325,278,085)
分配金額	(16,223,228)
	<hr/>
元本異動による純資産の減少額	(341,501,313)
期末純資産	855,045,873
	<hr/> <hr/>



数量／額面	銘柄	国コード	取引通貨	評価額（米ドル）	対純資産 比率 （%）
その他規制市場で取引される譲渡可能有価証券					
公社債					
アセットバック証券					
253,482,756	GNMA II, SF, 3.50% 12/20/46 - 05/20/47	USA	USD	262,849,140	30.74
71,368,051	GNMA, SF, 5.00% 07/15/33 - 08/15/40	USA	USD	78,868,788	9.22
66,100,363	GNMA II, SF, 4.50% 05/20/33 - 10/20/44	USA	USD	70,851,222	8.29
65,446,959	GNMA, SF, 4.00% 10/15/40 - 08/15/46	USA	USD	69,379,624	8.11
61,434,111	GNMA II, SF, 4.00% 05/20/40 - 03/20/47	USA	USD	65,015,591	7.60
52,563,675	GNMA II, SF, 3.50% 08/20/42 - 06/20/43	USA	USD	54,678,747	6.40
40,637,296	GNMA, SF, 4.50% 03/15/39 - 04/15/41	USA	USD	44,100,388	5.17
28,074,804	GNMA, SF, 6.00% 10/15/23 - 01/15/38	USA	USD	32,118,134	3.76
27,701,880	GNMA II, SF, 5.00% 10/20/32 - 07/20/44	USA	USD	30,432,728	3.57
26,878,876	GNMA, SF, 5.50% 11/15/28 - 11/15/39	USA	USD	30,206,636	3.53
21,654,590	GNMA II, SF, 3.00% 10/20/46	USA	USD	21,900,827	2.56
15,517,548	GNMA II, SF, 5.50% 05/20/34 - 01/20/36	USA	USD	17,349,134	2.04
13,210,355	GNMA II, SF, 6.00% 06/20/34 - 07/20/39	USA	USD	14,986,592	1.76
12,175,160	GNMA, SF, 6.50% 11/15/23 - 07/15/38	USA	USD	13,733,087	1.61
5,151,173	GNMA II, SF, 6.50% 03/20/27 - 10/20/38	USA	USD	5,968,547	0.70
4,340,063	GNMA, SF, 7.00% 03/15/22 - 09/15/32	USA	USD	4,721,493	0.55
3,739,018	GNMA, SF, 3.50% 04/15/43 - 05/15/43	USA	USD	3,900,214	0.46
2,567,521	GNMA II, SF, 7.00% 05/20/26 - 03/20/33	USA	USD	3,048,139	0.34
1,814,704	GNMA, SF, 7.50% 12/15/21 - 08/15/33	USA	USD	2,069,935	0.22
1,364,071	GNMA, SF, 8.00% 11/15/19 - 12/15/30	USA	USD	1,482,254	0.17
1,206,809	GNMA II, SF, 7.50% 08/20/22 - 09/20/32	USA	USD	1,425,683	0.16
1,152,765	GNMA II, 6.00%, 03/20/34 - 05/20/34	USA	USD	1,267,150	0.16
601,582	GNMA II, SF, 8.00% 06/20/22 - 07/20/31	USA	USD	700,822	0.07
436,996	GNMA II, 6.50% 04/20/34	USA	USD	483,311	0.06
349,643	GNMA, SF, 9.00% 04/15/19 - 03/15/25	USA	USD	400,582	0.05
136,102	GNMA II, SF, 8.50% 11/20/21 - 05/20/29	USA	USD	158,458	0.02
123,114	GNMA, SF, 8.50% 09/15/19 - 06/15/28	USA	USD	133,933	0.02
125,778	GNMA, 7.50% 04/15/31	USA	USD	130,042	0.02
65,452	GNMA, SF, 10.00% 09/15/18 - 03/15/25	USA	USD	68,208	0.01
45,103	GNMA, 8.00% 01/15/31	USA	USD	45,983	0.01
41,505	GNMA, SF, 9.50% 08/15/18 - 06/15/25	USA	USD	41,757	0.00
27,080	GNMA II, 8.00% 03/20/27	USA	USD	30,375	0.00

フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U.S.ガバメント・ファンド

数量/額面	銘柄	国コード	取引通貨	評価額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
23,670	GNMA II, SF, 9.50% 07/20/18 - 07/20/25	USA	USD	24,647	0.00
9,980	GNMA, SF, 7.80% 02/15/20	USA	USD	10,011	0.00
8,356	GNMA, 6.00% 11/15/28	USA	USD	9,427	0.00
6,127	GNMA, SF, 8.625% 10/15/18	USA	USD	6,202	0.00
6,035	GNMA, SF, 7.75% 03/15/27	USA	USD	6,120	0.00
5,681	GNMA I, 9.50% 10/15/18 - 11/15/21	USA	USD	6,076	0.00
1,886	GNMA, SF, 10.50% 06/15/19 - 04/15/25	USA	USD	1,944	0.00
41	GNMA, SF, 11.00% 04/15/21	USA	USD	41	0.00
				832,611,992	97.38
	国債証券及び地方債証券				
1,800,000	U.S. Treasury Bond, 4.75% 02/15/37	USA	USD	2,401,384	0.28
	1年以内に償還する証券				
2,404	GNMA, SF, 9.50% 09/15/17 - 06/15/18	USA	USD	2,412	0.00
2,022	GNMA II, SF, 9.50% 09/20/17 - 10/20/17	USA	USD	2,026	0.00
869	GNMA, SF, 8.50% 10/15/17 - 05/15/18	USA	USD	871	0.00
239	GNMA, SF, 10.50% 12/15/17	USA	USD	240	0.00
167	GNMA II, SF, 7.50% 12/20/17	USA	USD	168	0.00
141	GNMA, SF, 10.00% 09/15/17 - 12/15/17	USA	USD	141	0.00
15	GNMA, SF, 9.00% 11/15/17	USA	USD	15	0.00
				5,873	0.00
	公社債計			835,019,249	97.66
	小計			835,019,249	97.66
	合計			835,019,249	97.66

フランクリン・テンプルトン U.S.ガバメント・ セキュリティーズⅡ・ファンドの運用状況について

2016年9月30日決算

(計算期間：2015年10月1日～2016年9月30日)

フランクリン・テンプルトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンドはフランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド（ファンド・オブ・ファンズ形式）が投資対象とする外国投資法人です。

当ファンドの決算は、年1回（毎年9月末）です。したがって、直前の計算期末である2016年9月30日時点までの運用状況をお知らせします。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

設定形態	バミューダ籍投資法人／オープンエンド型／米ドル建て
投資目的	金利収入の確保を投資目的とします。
主な投資戦略	純資産総額の少なくとも80%を米国政府証券に投資を行います。現在、実質的にその資産のすべてを米国ジニーメイ・パス・スルー証券に投資しています。 また、米国政府の十分な信頼性と信用に裏付けられたその他の米国政府の証券（例えば、ストリップス債（treasury strips）、長期国債（treasury bonds）、中期国債（treasury notes）など）にも投資することがあります。短期の運用対象には、短期の政府証券や現金が含まれます。また、米国政府発行の証券を担保として利用するレポ取引（repurchase agreements）を行うことがあります。 * 資金動向、市況動向によっては、上記のような運用ができない場合があります。
関係法人	運用会社：フランクリン・アドバイザーズ・インク 管理事務代行会社：フランクリン・テンプルトン・サービシーズ・エルエルシー 名義書換事務代行会社：フランクリン・テンプルトン・インベストメント（アジア）リミテッド 保管銀行：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン
費用 <small>注</small>	申込手数料：かかりません 運用報酬：年0.40%以内 管理事務代行報酬：年0.10%以内 名義書換事務代行報酬：年0.05%以内

(注) この他に保管銀行報酬、監査費用、組入れ有価証券の売買委託手数料等取引に要する費用等がかかります。

損益計算書
2016年9月30日に終了した計算期間

(米ドル)

投資収益

債券利息	7,103,318
一部償還による損失	(977,494)
投資収益合計	<u>6,125,824</u>

費用

運用報酬	666,732
管理事務代行報酬	166,683
名義書換事務代行報酬	83,341
保管銀行報酬	1,417
その他費用	147,473
費用合計	<u>1,065,646</u>
純投資収益	<u>5,060,178</u>

投資有価証券に係る実現純利益	224,209
投資有価証券に係る未実現評価損	(979,543)
当期実現及び未実現純利益（損失）	<u>(755,334)</u>
運用の結果による純資産の純増加額	<u>4,304,844</u>



FRANKLIN TEMPLETON
INVESTMENTS

組入資産の明細

2016年9月30日現在

元本額 (米ドル) 評価額 (米ドル)

モーゲージ担保証券 97.8%

ジニーメイ (米国政府抵当金庫) 固定金利証券 97.8%

GNMA I SF 15 Year, 6.50%, 5/15/18	8,564	8,583
GNMA I SF 30 Year, 4.00%, 10/15/40 - 8/15/45	1,464,791	1,598,022
GNMA I SF 30 Year, 4.00%, 8/15/45 - 8/15/44	157,668	172,193
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 7/15/39 - 9/15/39	959,385	1,060,138
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 11/15/39 - 2/15/40	1,229,304	1,359,849
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 9/15/40	1,539,412	1,700,850
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 2/15/41	2,382,721	2,638,123
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 4/15/41	1,227,795	1,385,259
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 6/15/41	272,201	301,472
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 4/15/33 - 5/15/33	611,186	688,208
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 5/15/33	859,940	968,339
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 5/15/33 - 7/15/33	1,250,099	1,407,540
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 7/15/33	566,506	638,008
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 7/15/33 - 8/15/33	1,405,835	1,583,000
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 8/15/33	999,933	1,135,861
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 8/15/33 - 9/15/33	1,347,933	1,517,861
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 9/15/33	735,342	835,011
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 9/15/33 - 10/15/33	1,224,911	1,392,052
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 11/15/33	1,343,226	1,514,798
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 12/15/33 - 4/15/34	1,069,062	1,203,648
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 4/15/34 - 5/15/34	1,097,261	1,239,455
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 1/15/32 - 2/15/33	1,384,920	1,584,997
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 2/15/33 - 3/15/33	1,340,653	1,530,357
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 3/15/33 - 6/15/33	1,308,062	1,495,825
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 6/15/33 - 7/15/33	789,754	901,640
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 7/15/33 - 1/15/34	1,298,456	1,485,220
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 2/15/34 - 4/15/34	1,086,127	1,256,394
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 6/15/34	1,285,796	1,489,821
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 2/15/24 - 9/15/32	1,352,563	1,582,538
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 9/15/32 - 2/15/33	1,155,857	1,362,499
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 2/15/33 - 11/15/33	958,035	1,134,991
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 12/15/33	855,533	1,024,341
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 4/15/34	2,476,461	2,968,865
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 10/15/34 - 11/15/34	1,194,030	1,417,715

フランクリン・テンブルトン U.S.ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド

	元本額 (米ドル)	評価額 (米ドル)
GNMA I SF 30 Year, 6.50%, 12/15/23 - 9/15/32	1,353,841	1,591,262
GNMA I SF 30 Year, 6.50%, 9/15/32 - 11/15/34	322,405	372,156
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 5/15/22 - 5/15/28	1,423,932	1,591,593
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 5/15/28 - 2/15/31	1,083,694	1,295,220
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 9/15/31 - 10/15/31	830,948	1,018,522
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 4/15/32	2,298,731	2,843,959
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 5/15/32	625,521	765,791
GNMA I SF 30 Year, 7.50%, 2/15/23 - 2/15/32	716,721	781,728
GNMA I SF 30 Year, 7.50%, 2/15/32	1,837,365	2,276,917
GNMA I SF 30 Year, 7.50%, 3/15/32	153,638	187,858
GNMA I SF 30 Year, 8.00%, 5/15/17 - 3/15/32	707,100	771,326
GNMA I SF 30 Year, 8.25%, 5/15/20	2,877	3,062
GNMA I SF 30 Year, 8.50%, 2/15/17 - 2/15/32	409,723	455,333
GNMA I SF 30 Year, 9.00%, 11/15/16 - 9/15/30	333,496	382,310
GNMA I SF 30 Year, 9.50%, 7/15/17 - 12/15/21	5,999	6,303
GNMA I SF 30 Year, 10.00%, 7/15/17 - 10/15/21	909	952
GNMA I SF 30 Year, 11.00%, 9/15/17	118	118
GNMA II SF 15 Year, 6.00%, 7/20/17 - 8/20/17	40,987	41,411
GNMA II SF 30 Year, 3.00%, 12/20/42	546,054	575,206
GNMA II SF 30 Year, 3.00%, 8/20/46	1,336,722	1,402,807
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 4/20/43	843,083	898,187
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 5/20/43	1,499,420	1,599,010
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 6/20/43	2,300,744	2,453,708
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 9/20/43	3,446,897	3,675,424
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 2/20/44	3,031,392	3,227,933
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 3/20/46	7,218,009	7,677,356
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 5/20/46	291,048	309,646
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 7/20/46	5,868,793	6,246,673
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 8/20/46	3,316,624	3,529,188
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 9/20/46	1,690,000	1,801,711
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 1/20/41 - 2/20/41	1,288,309	1,389,724
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 7/20/41	1,207,172	1,299,332
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 8/20/41 - 9/20/41	1,305,706	1,405,331
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 10/20/41	564,674	607,675
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 11/20/41	1,462,001	1,575,843
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 12/20/41 - 2/20/44	1,030,514	1,117,956
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 2/20/44	840,200	917,118
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 2/20/46	1,750,000	1,877,005



FRANKLIN TEMPLETON
INVESTMENTS

	元本額 (米ドル)	評価額 (米ドル)
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 4/20/46	1,527,651	1,639,813
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 5/20/46	11,353,145	12,191,830
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 5/20/33 - 5/20/34	1,232,637	1,340,763
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 5/20/34 - 7/20/34	1,211,992	1,319,314
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 8/20/34 - 10/20/34	1,112,760	1,209,652
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 5/20/41	942,255	1,032,978
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 6/20/41	2,859,888	3,135,249
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 9/20/41	1,986,084	2,180,331
GNMA II SF 30 Year, 5.00%, 9/20/33	6,727,930	7,565,454
GNMA II SF 30 Year, 5.00%, 11/20/33	2,431,999	2,732,844
GNMA II SF 30 Year, 5.00%, 12/20/33 - 3/20/34	1,141,918	1,282,533
GNMA II SF 30 Year, 5.50%, 6/20/34	5,787,859	6,567,059
GNMA II SF 30 Year, 6.00%, 10/20/28 - 11/20/33	622,578	733,782
GNMA II SF 30 Year, 6.00%, 12/20/33 - 3/20/34	1,280,704	1,493,268
GNMA II SF 30 Year, 6.00%, 4/20/34 - 7/20/39	1,367,374	1,527,315
GNMA II SF 30 Year, 6.50%, 10/20/25 - 9/20/31	729,448	888,164
GNMA II SF 30 Year, 6.50%, 10/20/31 - 8/20/32	1,279,818	1,524,686
GNMA II SF 30 Year, 6.50%, 8/20/32 - 2/20/33	1,285,044	1,546,402
GNMA II SF 30 Year, 6.50%, 11/20/33	804,977	981,593
GNMA II SF 30 Year, 7.00%, 1/20/34	253,238	276,944
GNMA II SF 30 Year, 7.50%, 10/20/23 - 1/20/31	1,210,911	1,471,838
GNMA II SF 30 Year, 7.50%, 2/20/31 - 12/20/32	986,367	1,224,397
GNMA II SF 30 Year, 8.00%, 9/20/26 - 7/20/31	406,010	484,541
GNMA II SF 30 Year, 8.50%, 11/20/21 - 11/20/31	275,428	325,933
GNMA II SF 30 Year, 9.00%, 10/20/24 - 1/20/27	247,654	277,832
GNMA II SF 30 Year, 9.50%, 1/20/17 - 12/20/21	11,142	11,630
GNMA II SF 30 Year, 10.00%, 9/20/20 - 9/20/21	1,760	1,840
モーゲージ担保証券計 (Cost \$145,712,777)		156,524,112
短期証券 (Cost \$4,030,000) 2.6%		
買戻し条件付取引 2.6%		
Bank of America Securities LLC, 0.45%, 10/03/16 (Maturity Value \$4,030,151) Collateralized by U.S. Treasury Note, 1.125%, 2/28/21 (valued at \$4,110,962)	4,030,000	4,030,000
合計 (Cost \$149,742,777) 100.4%		160,554,112



FRANKLIN TEMPLETON INVESTMENTS

フランクリン テンプルトン インベストメンツは、創業以来
ベンジャミン・フランクリンの肖像画をロゴマークとしております。

創業者ルーパート・H・ジョンソン Sr.は、

“With money and financial planning, prudence comes first.”

(お金を増やそうとするときに一番大切なのは、用心深さである。)

というベンジャミン・フランクリンのビジネス哲学に深く感銘し、

アメリカ建国の父でもあり、偉大な科学者、

そして優れた投資家でもあった彼の名を社名に冠しました。

ベンジャミン・フランクリンの肖像画を用いたロゴマークは、

ご投資家の皆様にとって、

フランクリン テンプルトン インベストメンツの資産運用サービスに対する

信頼と安心の象徴となっております。